

今回は、女性同盟川崎支部顧問の金順牙さん（1925年生）を紹介します。

16歳（1941年）の時、両親と共に日本に渡ってきた金さんは、親孝行も満足にできずひたすら耐える人生を送ってきました。そんな折、縁あって故金炳龍氏と結婚し、3人の子を授かりました。ご主人は、事業の傍ら在日同胞の生活と民族権利擁護のために率先して活動を積極的に行っていました。特に1965年、川崎朝鮮人会館（現川崎支部）建設委員長を任せられ会館竣工に尽力。また当時、産業道路拡張工事が始まり、その一帯に住む同胞たちの立ち退き問題が浮上した際に、支部委員長らと力を合わせ複雑な問題を円満に解決された。その後は、川崎朝鮮初級学校の教育会会長を担いウリ学校の運営に力を注がれました。また、1967年からは総聯川崎支部副委員長として非専任活動。1969年に当時の総聯支部委員長が死去された後、金炳龍氏が副でありながら責任者の役割を果たし1983年までの16年間副委員長を務められた。故金炳龍氏は、自分の生活よりも同胞達や組織、祖国統一の為の愛国事業に身体も時間も捧げ、献身的に活動されました。無念にも統一の日を見ぬまま、



恋しい故郷にも戻れず異国の地で永眠されました。

そんなご主人を誇りに、金さんは愚痴は一切こぼさず、ご主人の事業と愛国運動を影で支えて来ました。

民族教育を受け育ったわが子たちがとても頼もしく思え、以後自らも愛国事業の一線で活動する決意をしたのです。

1968年から1971年まで女盟川崎支部委員長の重責を担い、以後副委員長、顧問を歴任。現在は、女盟川崎支部顧問、川崎高麗親睦会の副会長、NPO法人「川崎アリアンの家」理事をしています。

孫たちの元気な姿や笑顔が何よりの栄養剤だそうです。御主人の事業を子供たちが受け継ぎ、孫たちがさらに発展させてくれたら、こんな嬉しいことはないと思ひながら、一日も早く祖国が統一することを願ひ多方面で頑張っておられます。「60青春、90還暦」を胸に刻み、まだまだ気力充分、元気ハツラツな頼もしい顧問です。

◆支部事務所補修工事の件

外壁補修工事費 40万円を無事支払いしました。この度、祖国の水害同胞支援募金と合わせて一口運動を行った結果目標を達成することができました。ご協力してくださった皆さま本当に有難うございます。ご報告です！

◆神奈川朝鮮中高級学校・運動会 (9/19)

中高運動会での支部対抗ムカデ競走（9チーム参加）で、わが川崎支部が見事優勝しました！参加選手の皆さんそして応援してくれたアボジ、オモニたちお疲れ様でした。



ことわざ

きりょう きまえ
■器量より気前

外見よりも内容の方がより大切というたとえ

スヨミ テジャラド モゴヤ ヤンバン

●수염이 대자라도 먹어야 랑반

ひげが大の字でも食べてこそリャンバン
12の才がありながら晩ご飯のおかずはない

●WBAスーパーバンタム級チャンピオンに輝いた李洌理選手の祝勝会 (王者奪取 2010.10.2)

10月15日、WBAスーパーバンタム級チャンピオンに輝いた李洌理選手の祝勝会がホテル横浜ガーデンにて盛大に行われました。祝勝会には各界の来賓を始め、地元の同胞やファンなど総勢120名が参加しました。祝勝会は李洌理選手の登場から始まり、数多くの祝勝ビデオメッセージや祝電、李洌理選手への質問タイム、李洌理選手グッズ争奪じゃんけん大会などが行われ、今までにない盛り上がりを見せました。来賓の挨拶で『神奈川からスターが生まれる！神奈川の地域同胞の力が強いからだ！』と体育協会関係者が語るほど、李洌理選手を始め鄭大世選手も世界に名声を轟かせています。李洌理選手は、会の最後に次の目標を述べました。『確実に1試合、1試合防衛すること！』。これからも李洌理選手へ熱い応援をよろしくお願い致します！（応援会事務局長：車詰柱）



みんなで行こう！

同胞青年祝典「ウリミレEXPO」

日時：2010年11月7日（日）

場所：東京朝鮮中高級学校

- ★大抽選会（3Dテレビ×2本、旅行券10万円分×8本、iPad×8本）総数2,012本が当たる！
- ★お笑いライブ・パンクブービー、アントキの猪木ほか出演！

行事案内

- ◆11/4~5（木・金）：学生中央芸術競演大会（東京）
- ◆11/21（日）：川崎朝鮮初級学校 学芸会
- ◆11/末~12中旬：各分会 忘年会
- ◆11/30（火）：朝鮮料理教室（横浜市技能文化会館 601調理室）参加費：2,000円
女性同盟神奈川主催（担当/朴京愛）
- ◆12/13（月）：県商工会第31期第2次拡大会議（経営セミナー&忘年会）ホテル横浜ガーデン
- ◆1/30（日）：神奈川同胞商工人 新春の集い 熱海聚楽ホテル（1人：18,000円）

編集後記

川崎地域において在日同胞が集う行事と言えば、KAWASAKI「大交流祭」。地域の青商會が主催し多くの住民が参加している。今年は誰が来るんだろう？と胸がわくわくして当日が待ち遠しくなる。今年も大盛況でした。若い世代が組織して集う会は、力がみなぎって元気もらえる。

【お問い合わせ】 동네다より編集部
川崎区浜町 3-3-5 TEL.044-322-7280 FAX.044-322-7289
メールアドレス: tongnedayorikawasaki@yahoo.co.jp 担当：朴仁進

동네다より 가와사끼 (川崎)



第7回 KAWASAKI 「大交流祭」 川崎朝鮮初級学校

10月3日、民族や国籍を超えて市民が触れ合う「KAWASAKI 大交流祭」は、1,663人の来場者が楽しいひと時を過ごした。3年連続1,500名以上の市民が集まるなど、交流の輪は着実に広がっている。

「同じ川崎に住んでいても、地元の人たちにとっては在日コリアンや朝鮮学校は『近くて遠い存在』と感じている人は多いと思う。大交流祭を通じて、そうしたイメージを払拭していきたい。」実行委員会



会長のコメント

今回で7回目の開催でしたが我々の知らないところで本イベントの認知度、信用度が高く評価されているという事実を知りました。それは川崎区に2校の日本学校が本イベントのチラシを児童を通して快く配布してくれたことです。

通常、日本学校は自学校に関する案内もしくは教育委員会関連のものしか配布をしません。実際、昨年は大半の学校から児童を通してチラシ配布は断れています。しかし、今回はほとんどの日本学校の反応が「大交流祭ですよね。知ってますよ。うちの生徒達も楽しみにしていますから。喜んでチラシ配布に協力します」という感じだったそうです。本当に嬉しい限りです。教訓としてどんなに厳しい状況でも継続した事業、信念を持った事業というのは日本社会をも変えられるということを感じました。



車詰柱

大交流祭実行委員会委員長
川崎青商會会長

